

2月29日：VN 指数は反落 (VN-Index -0.15%)

- VN 指数は昨日の上昇基調を引き継ぎ、再び高値圏での取引を開始させた。
- しかし、市場はその勢いを保つことができず、徐々に下落していった。利益確定売りによる売り越しが重しとなった。
- そのため、銀行や化学セクターなどといった、これまで上昇していたセクターも苦戦した。
- 後場は下落して開始したが、1,250pt 水準が支持帯となった。
- その後、買戻しが優勢となったが、指数は横ばい圏で推移し、上昇に転じるには及ばなかった。
- 214 銘柄が上昇、262 銘柄が下落、80 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は増加し、15.4%増の 26.1 兆ドンとなった。

VN30 指数は上昇を維持 (VN-30 +0.03%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇し、18 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずとなった。
- ビングループ銘柄の VRE (-4.68%)、VHM (-2.25%)、VIC (-1.32%) などが、BID (-1.67%) や CTG (-1.11%) とともに指数を下落させた。
- MSN (+3.07%)、MWG (+1.99%)、SSI (+2.49%)、そして HPG (+1.31%) が上昇を支援した。

セクター・個別株の動き

- MWG (+1.99%) は、同社の会長が 2024 年の売上高目標を 2023 年比 14 倍の 2 兆 4,000 億ドンと発表し、投資家たちに好感された。
- KDH (+6.94%) は、同社が住宅デベロッパーの中で最大級のクリーンな土地バンクを保有しているとの報道を受け、ストップ高となった。また、第三者割当増資により 3 兆ドンの資金調達を検討されている。

- 外国人投資家も本日 4,120 億ドルの売り越しで利益を得たようだ。VHM (-2.25%) と VRE (-4.68%) が売り越しリストのトップだった。一方、SSI (+2.49%)と HPG (+1.31%)は最も買い越された銘柄だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。